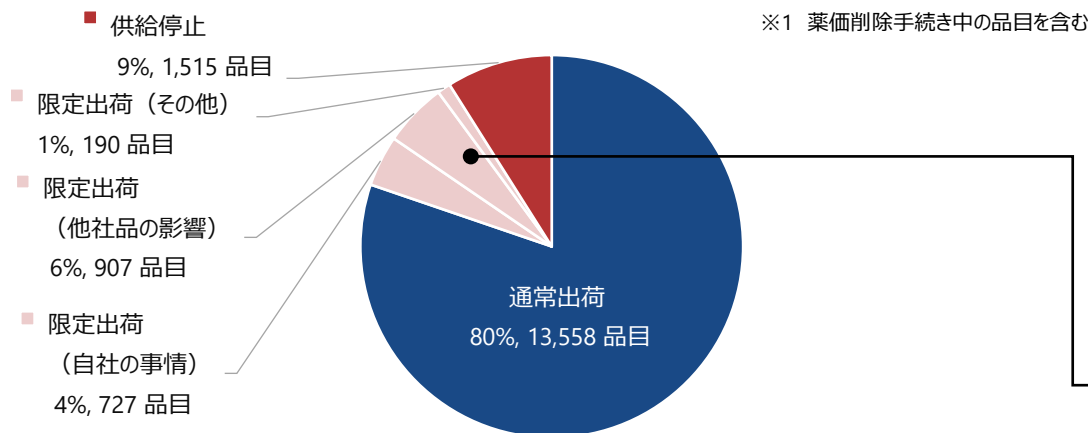


1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年1月）

○ 製造販売業者の対応状況については、調査対象17,384品目に対し、16,897品目の回答を得た。

○ 結果としては、**限定出荷・供給停止が合計20%**（3,339品目）であり、限定出荷の要因としては「**他社品の影響**」による**ものが最多**であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1



カテゴリ別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

2025年1月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	110	7%	178	10%
長期収載品 ※	52	3%	102	6%
後発品	1,009	67%	1,073	59%
その他医薬品 ※	344	23%	471	26%
合計	1,515	100%	1,824	100%

項目の定義

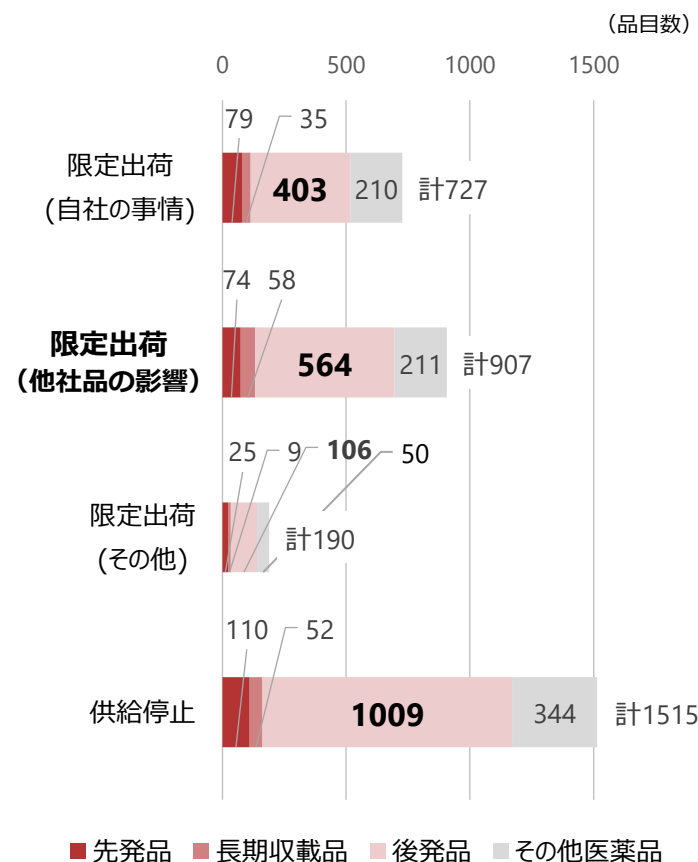
※長期収載品：後発品のある先発品

※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

カテゴリ別：限定出荷の要因（自社事情、他社品の影響）分析

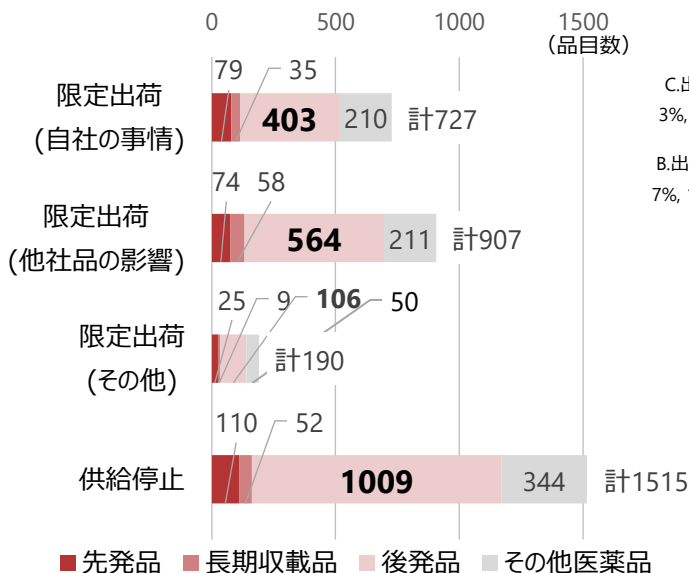
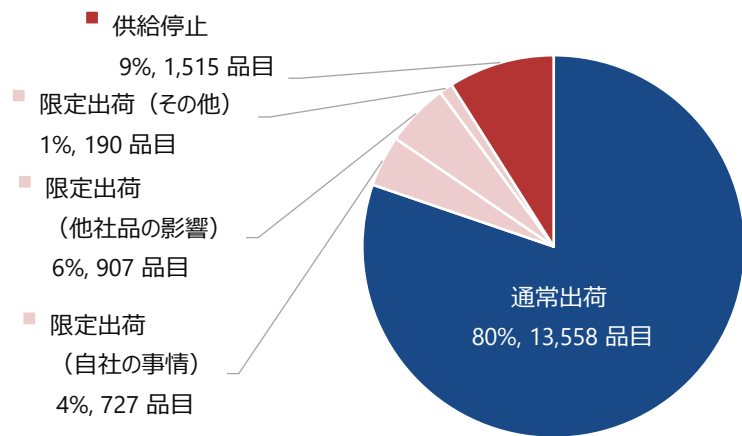
2025年1月 調査結果	限定出荷						
	自社の事情		他社品の影響		その他		合計
先発品	79	11%	74	8%	25	13%	178
	44%		42%		14%		100%
長期収載品 ※	35	5%	58	6%	9	5%	102
	34%		57%		9%		100%
後発品	403	55%	564	62%	106	56%	1,073
	38%		53%		10%		100%
その他 医薬品 ※	210	29%	211	23%	50	26%	471
	45%		45%		11%		100%
合計	727	100%	907	100%	190	100%	1,824
	40%		50%		10%		100%

2 限定出荷・供給停止の内訳

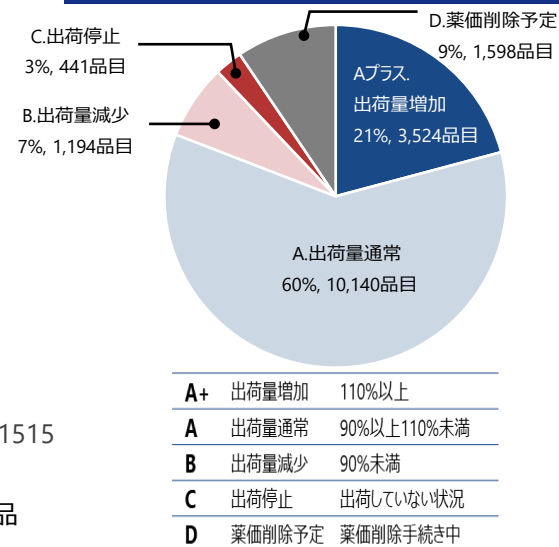


1 - 2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年1月） （薬価削除予定品目有無別）

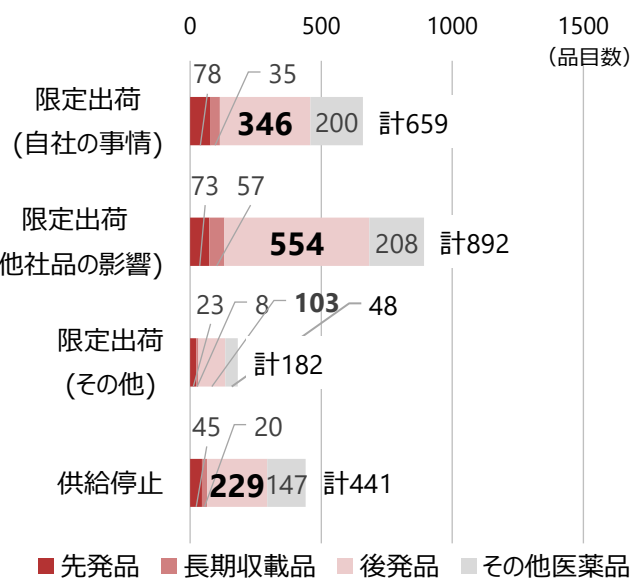
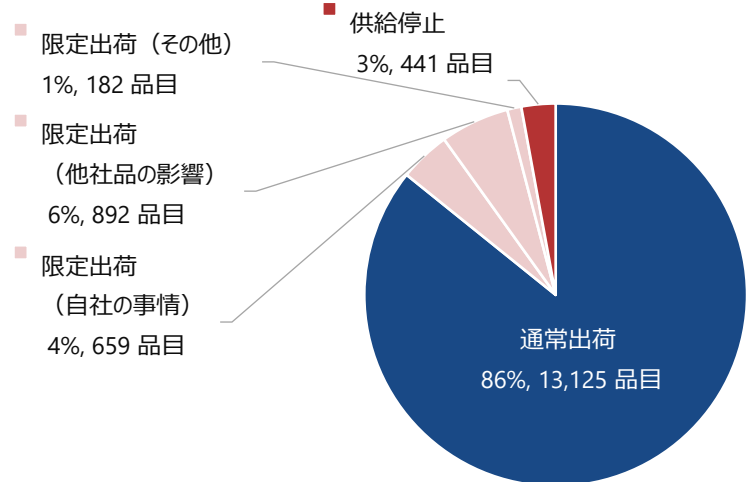
医薬品全体の対応状況



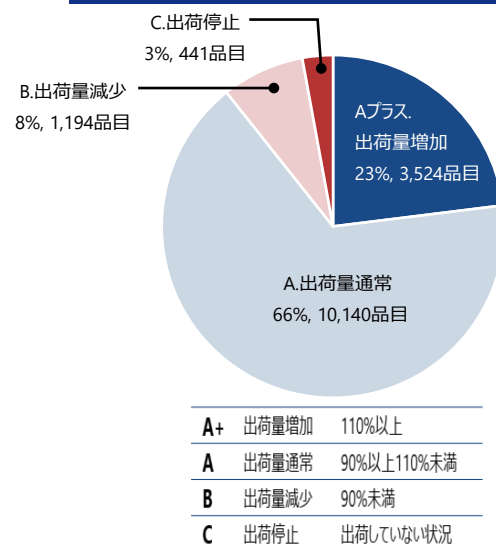
医薬品全体の出荷量の状況



医薬品全体の対応状況

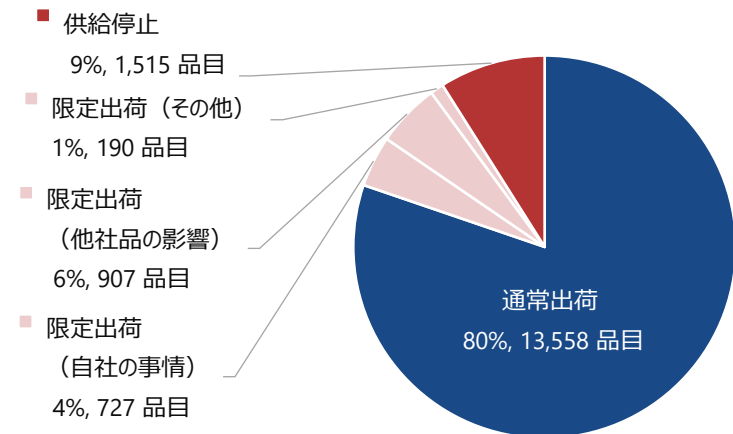


医薬品全体の出荷量の状況

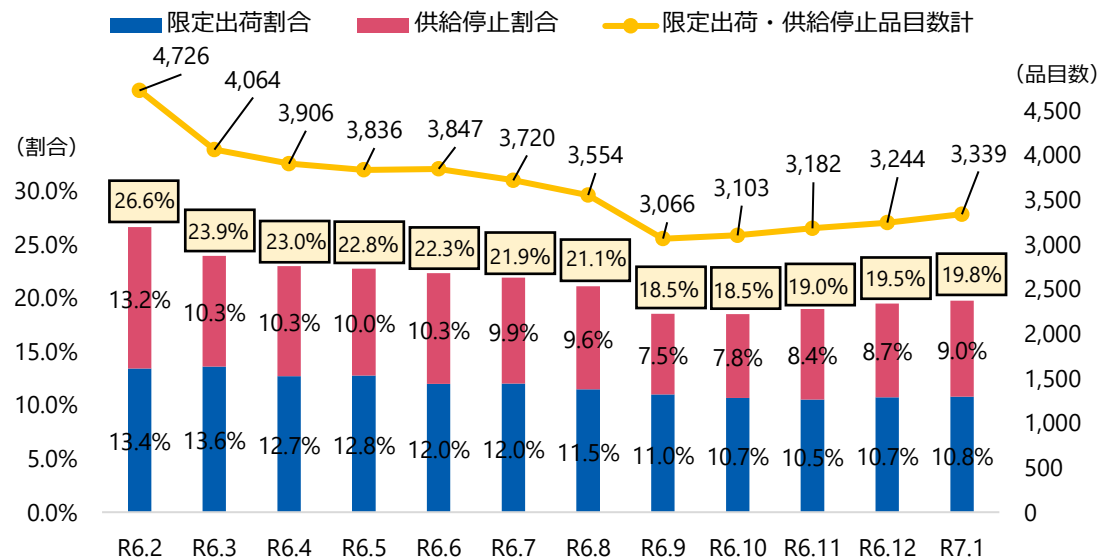


1-3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和5年～6年度）（供給（限定出荷・供給停止）の状況）

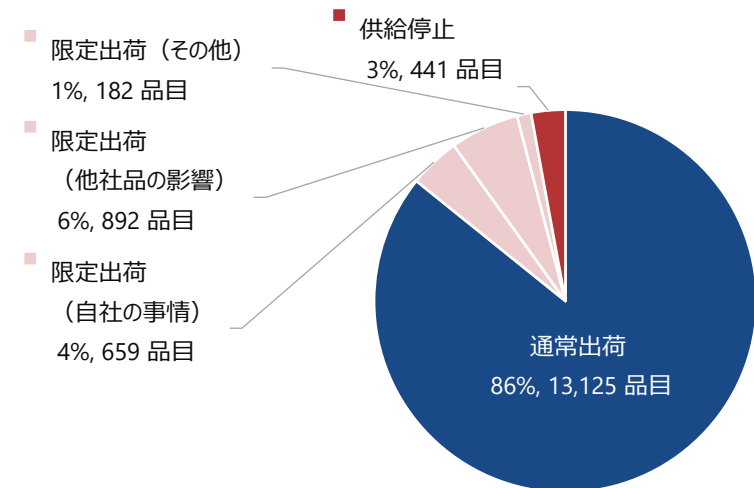
医薬品全体の対応状況（令和7年1月）



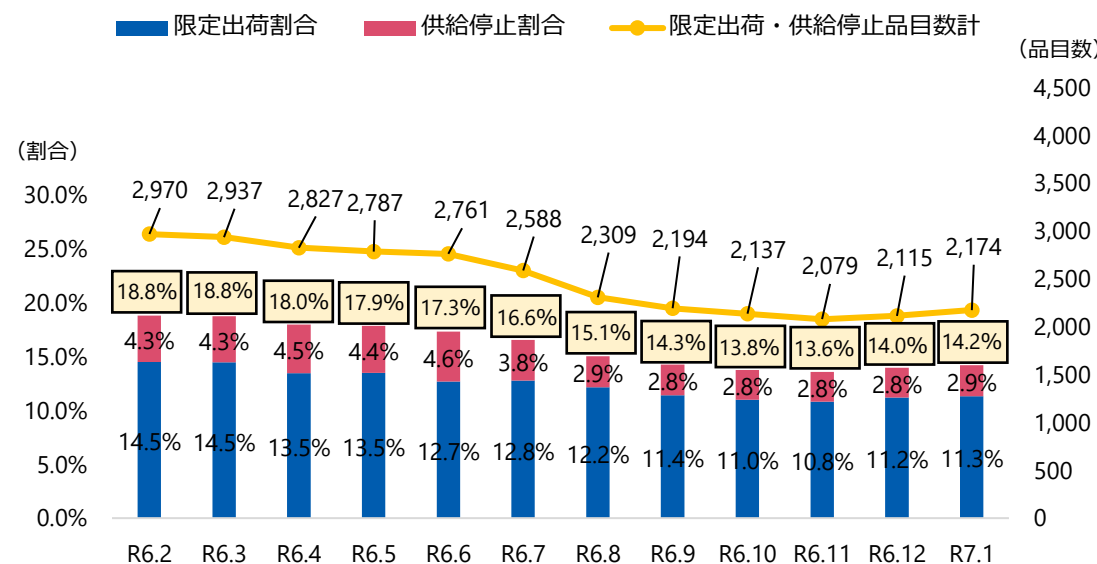
医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



医薬品全体の対応状況（令和7年1月）

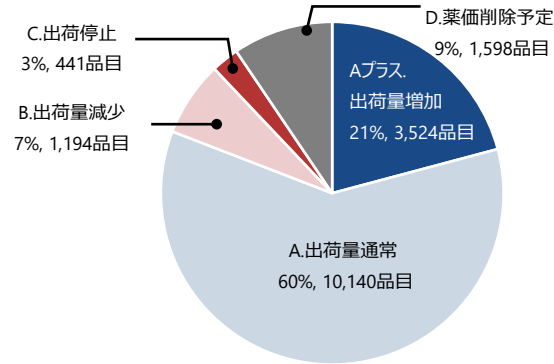


医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



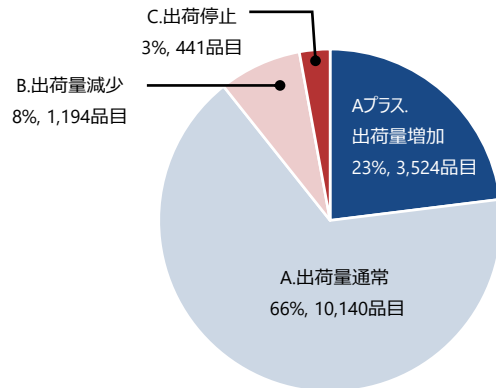
1-3② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和5年～6年度）（出荷量（減少・停止・薬価削除予定）の状況）

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年1月）



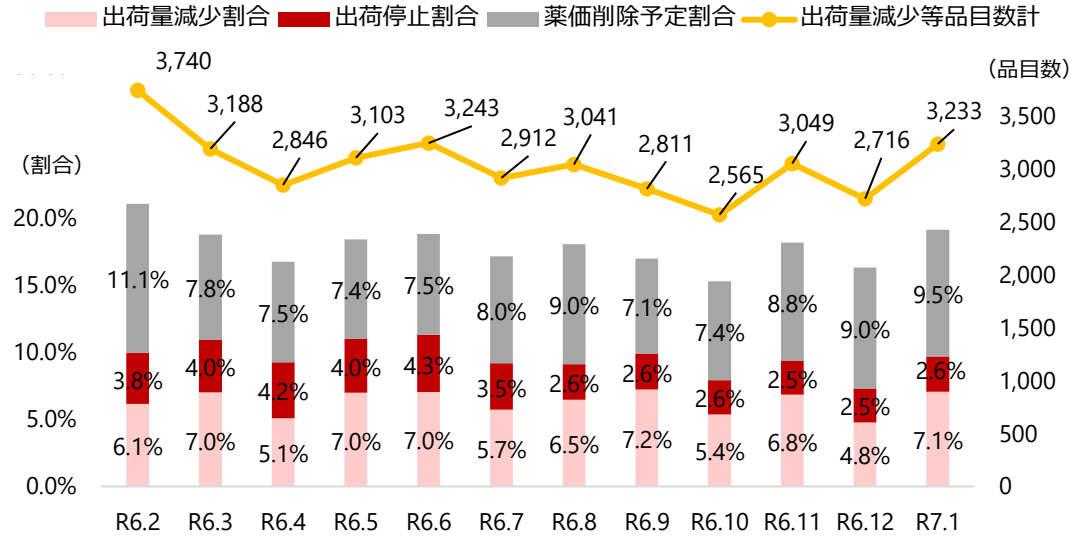
A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年1月）

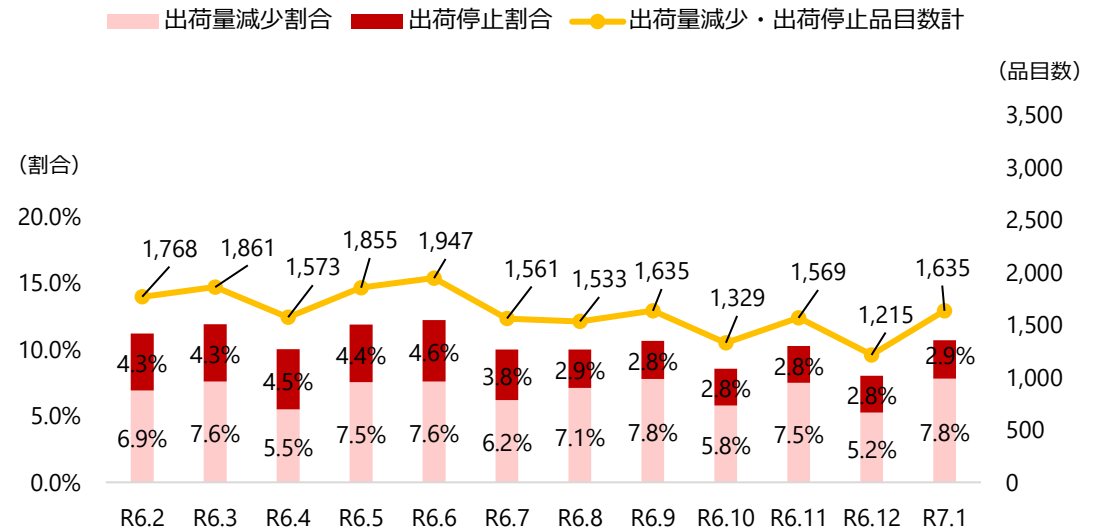


A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況

医療用医薬品の出荷量の推移



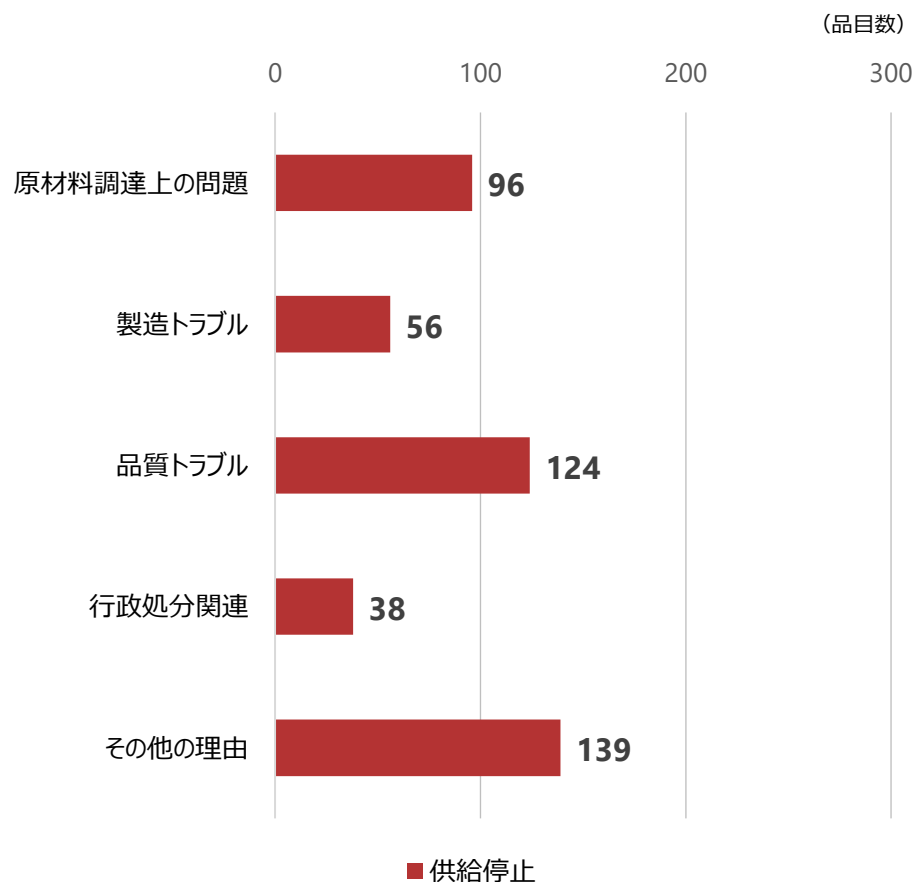
医療用医薬品の出荷量の推移



1 - 4 供給停止・限定出荷の理由（令和7年1月）

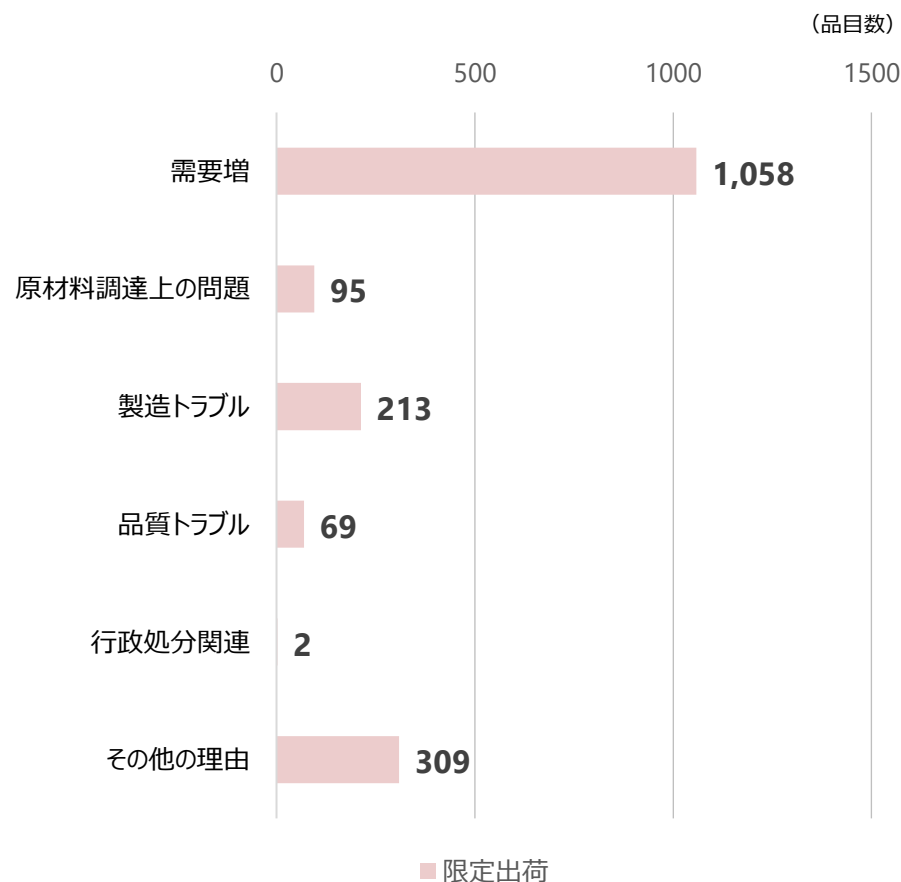
○ 供給停止1,515品目、限定出荷1,824品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。

1 供給停止の理由 ※1



※1 薬価削除が理由である1,062品目は除く。

2 限定出荷の理由 ※2

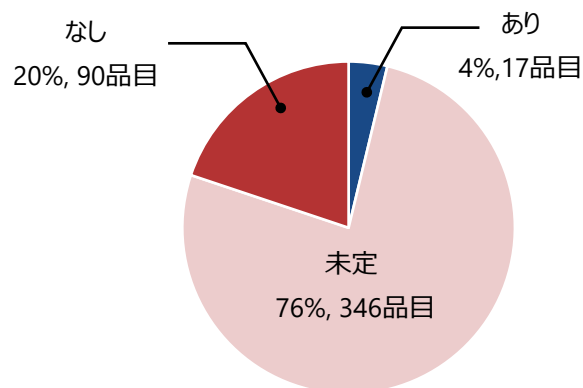


※2 薬価削除が理由である78品目は除く。

1－5 供給停止の解消見込み（令和7年1月時点）

- 供給停止1,515品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった。
- 供給停止解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「3カ月超」が最多であった。

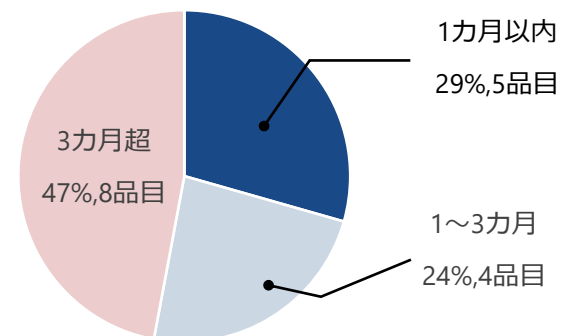
1 供給停止の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
原材料調達上の問題	4	77	15
製造トラブル	3	51	2
品質トラブル	4	115	5
行政処分関連	1	26	11
その他の理由	5	77	57
合計	17	346	90

2 供給停止の解消時期の見込み



(単位：品目)

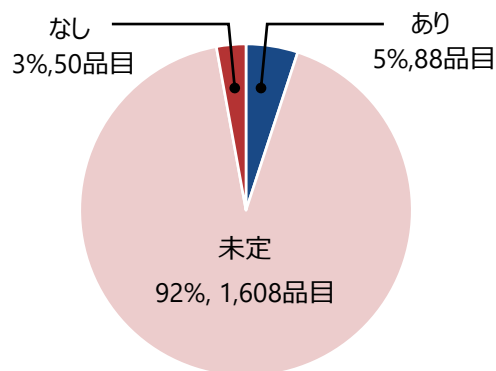
理由	1カ月以内	1～3カ月	3カ月超	未定
原材料調達上の問題	1	2	1	0
製造トラブル	0	1	2	0
品質トラブル	1	0	3	0
行政処分関連	0	1	0	0
その他の理由	3	0	2	0
合計	5	4	8	0

※1 薬価削除が理由である1,062品目は除く。

1－6 限定出荷の解消見込み（令和7年1月時点）

- 限定出荷1,824品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった
- 限定出荷解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「1～3カ月」が最多であった。

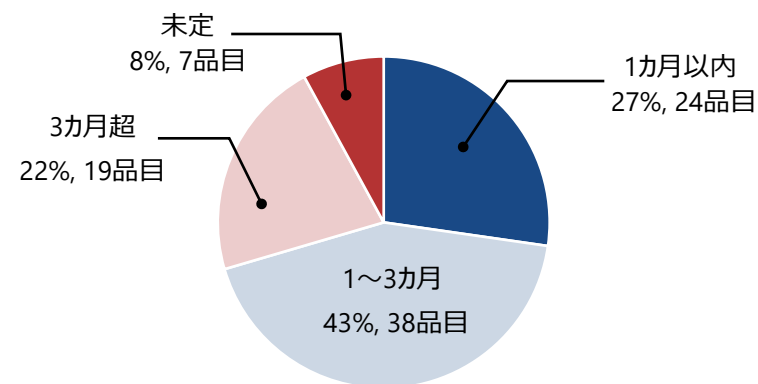
1 限定出荷の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
需要増	33	1,010	15
原材料調達上の問題	10	75	10
製造トラブル	5	208	0
品質トラブル	6	60	3
行政処分関連	0	2	0
その他の理由	34	253	22
合計	88	1,608	50

2 限定出荷の解消時期の見込み



(単位：品目)

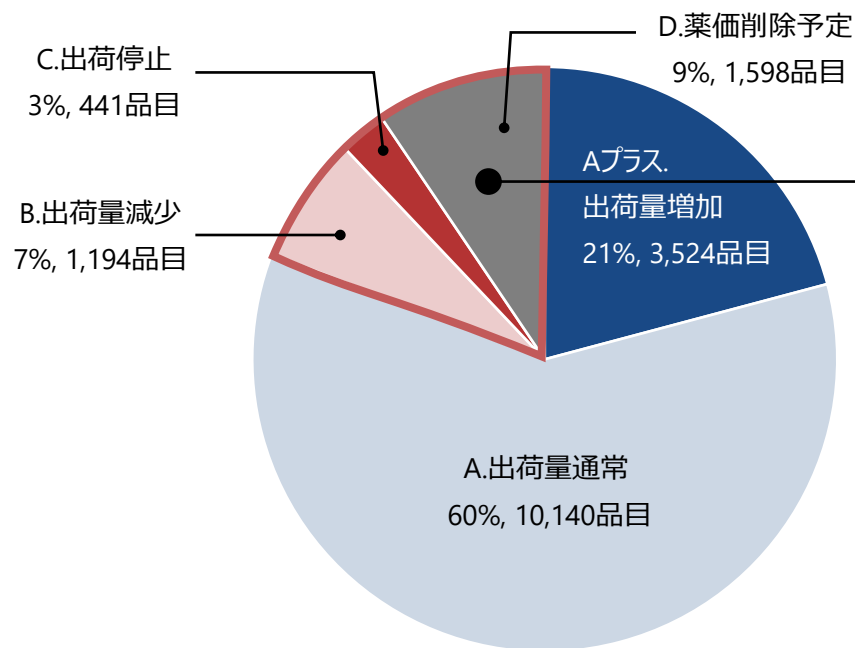
理由	1カ月以内	1～3カ月	3カ月超	未定
需要増	7	14	6	6
原材料調達上の問題	1	2	6	1
製造トラブル	1	3	1	0
品質トラブル	4	2	0	0
行政処分関連	0	0	0	0
その他の理由	11	17	6	0
合計	24	38	19	7

※1 薬価削除が理由である78品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和7年1月）

- 製造販売業者の出荷量の状況については、調査対象17,384品目に対し、16,897品目の回答を得た。
- **出荷量通常は合計81%**、出荷量通常以外の**出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計19%**であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、出荷量減少は「その他医薬品」、出荷停止・薬価削除予定は「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳

